

コミュニティの意見



Social Cohesion Guide

Social cohesion (社会的結束) に対するコミュニティの意見 (概要)

2019年3月15日にクライストチャーチ市内で発生したテロ事件の調査を担当した王立調査委員会は、Aotearoaニュージーランドにおけるsocial cohesion (社会的結束) の強化に関する提言をまとめました。それらの提言を実践する取り組みの一環として、社会開発省はsocial cohesion (社会的結束) を強化し、評価する戦略の開発について広範な人々とコミュニティから意見を求めるため、2021年7月から翌年3月にかけて、対話やエンゲージメントの場を設けました。

これらの公の協議に出席した人々は、Aotearoaニュージーランド国内に存在するsocial cohesion (社会的結束) の問題、他者との違い (性別・宗教・セクシュアリティ・居住区など) に基づく差別体験や不公平な取り扱いについて意見を交換しました。出席者の多くは、同時に複数の差別を受ける極めて深刻な体験をしていました。そして誰もが、一人ひとりの違いを無視したり、一緒くたにしたりするのではなく、それぞれに価値を見出し、尊重する社会の実現を求めました。

出席者は、Te Tiriti o Waitangi (ワイタングィ条約) とsocial cohesion (社会的結束) の強い結びつきについても協議し、同条約がMāori人だけでなく、Aotearoaニュージーランドに住むあらゆる人々のsocial cohesion (社会的結束) を強めるために価値ある教訓を示しているという認識に至りました。また、social cohesion (社会的結束) を強化する取り組みへより多くの資源や資金を投入することにも期待が寄せられました。

出席者の意見を基にsocial cohesion (社会的結束) を次のように定義づけました。social cohesion (社会的結束) の定義：Aotearoaにおいて、すべての人々、whānau、コミュニティが繁栄し、帰属意識を持って互いに尊重し合うこと。参加者は「帰属意識」「尊重」「公平」という言葉を定義に盛り込むことを強く主張しました。

Social cohesion (社会的結束) の現状を調査した研究に基づき、今後取り組むべき6つの重点分野についても検討しました。6つの重点分野 (最新版):

1. 相互の違いに基づく差別又は不公平な取り扱い;
2. 様々な集団が成長し、連携できる建設的な機会の創出;
3. 重要な社会活動への参画;
4. 健全な暮らしとその実現を阻む障害;
5. インクルージョンと価値の共有;
6. 次世代のために社会と環境を守るこれらの重点分野に関する話し合いでは、公平性・力の不均衡・社会的害悪・信頼・多様性・アイデンティティに関する様々な問題が取り上げられ、social cohesion (社会的結束) を実現するうえでそれぞれの重点分野の重要性が確認されました。

また、これらの重点分野は国内のsocial cohesion (社会的結束) を強化するために政府諸機関がすでに実施している取り組みを補完・拡充するものです。

social cohesion (社会的結束) を強化する取り組みの成功について質問された出席者たちは、人々が帰属意識と相互信頼を持ち、尊重され、積極的に参画できる公平な環境の実現であると答えています。このフィードバックが分析され、それを基に social cohesion (社会的結束) を強化する取り組みの評価・測定の基準となる成果目標が策定されました。

多様な背景を持つ出席者が参加した対話やエンゲージメントから得られたフィードバックや意見が、social cohesion (社会的結束) を強化する戦略に大きな影響を与えています。

